

# Homage

---

Dr. Eichi Kobayashi (1931-2013)

去る2013年6月20日、教育研究所元所員であられた  
小林栄智名誉教授（教育学博士）（82歳）が逝去されました。

研究所といたしまして、ここに謹んで哀悼の意を表します。

Dr. Eichi Kobayashi, former member of IERS,  
former Professor of English and Professor Emeritus, passed away on June 20, 2013.

IERS expresses its condolences.

Insung Jung  
Director of IERS

# 小林栄智先生の思い出

## In Memory of Professor Eichi Kobayasi

吉田 智行 YOSHIDA, Tomoyuki

● 国際基督教大学  
International Christian University

私が初めて小林栄智先生にお目にかかったのは、1982年のICUの大学院入試の面接の時でした。緊張している私に、優しく微笑みながら面接を進めてくださったのを今でも鮮明に覚えています。入学後、小林先生の「古英語」の授業を履修させていただいた時には、優しさよりも厳しさの方が印象に残っています。おそらく先生の学問に対する真摯な姿勢を目の当たりにしたからだと思います。古英語の発音というものを初めて学んだ私は、授業中によく叱られました。「もっと流れるように読みなさい」、「古英語の時代を思い浮かべて発音を考えてみなさい」などと注意されて悩んだりもしましたが、大学院生だった私は、小林先生の英語研究に対する愛情にも似た情熱に驚きを隠せませんでした。もちろん、現代英語の発音や文法にも厳しく、今思えば英語に対してきちんと向き合おうという気持ちになったのは、小林先生にご指導いただいたからだだと思います。小林先生の英語に対する情熱は御著書からもひしひしと伝わってきます。特にMoutonから1964年に出版された小林先生の博士論文THE VERB FORMS OF THE SOUTH ENGLISH LEGENDARYと三修社から1991年に出版されたTHE STORY OF Apollonius of Tyre IN OLD AND MIDDLE ENGLISHは、先生の情熱がぎっしり詰まった著作だと思っています。

修士課程が終わりオハイオ州立大学の大学院に進むことになった私に、小林先生はご自身のミシガン大学とトロント大学への留学のご経験をもとに様々な助言をしてくださりました。授業に積極的に参加することの重要性をいろいろなエピソード

を交えて話してくださいました。しかし最も印象に残っているのは、「睡眠時間を削って勉強ばかりしていると、風邪を引いたり、体調を崩したりしがちだが、体調を崩すまで勉強してはいけないよ」と優しくおっしゃったことです。その後、ミシガン大学のフットボールの話をしてくださいました。オハイオ州立大学に留学する予定だった私に、特にミシガン大学とオハイオ州立大学のライバル関係について詳しく説明してくださいました。もちろん、私は留学が始まるとシーズン・チケットを購入しよくルームメイトとスタジアムでフットボール観戦したものです。ミシガン大学とのゲームは、いつも想像以上に盛り上がり、週明けに喉がかわれて声がでないということもありました。

ほんの数年のつもりで留学した私でしたが、思ったよりも長い留学になってしまい、小林先生との再会はICUの修士課程修了の10年後になります。1992年にコーネル大学の博士課程を終え、私はICUで教鞭をとる機会をいただきました。小林先生との再会は、私にとっては何とも僭越な同じ語学科のColleagueという状況でした。私は博士課程では理論言語学を専攻したので、小林先生と研究分野という点では接点が少なかったのですが、当時のELPの仕事に関してはご一緒させていただく機会がたくさんありました。ELPの授業を教え始めた時には、ノン・ネイティブの教員がELPで教えるにあたって考えるべきことについて教えていただいたのですが、やはり一番重要なのは「きちんと英語に向き合うこと」というポイントでした。小林先生は10年経っても全

然変わっていないなあと感じたものです。また、**Colleague**として小林先生と接するようになって、学生として接していた時には知らなかった先生の可愛い側面を見せてもらえるようにもなりました。ELPのパーティーでは、「気持ちよく酔っぱらった可愛いおじいちゃん」の姿を見せてもらい、厳しかった「古英語」の授業で見せていた姿とのギャップの大きさに心がほっこりとさせられました。また、「昼食の後にはおやつを食べてはいけないよ。帰宅してからのビールを美味しく飲むためにはこれを守りなさい」というのも名言だと思います。

小林栄智先生は40年に渡ってICUにご奉仕くださいました。その間には13年間の語学科長、大学紛争の時代の学長職務代行、学長代理補佐などの激務をこなしてくださいました。学生として、また語学科・ELPの**Colleague**として小林先生と過ごさせていただいた時間は、私の人生においてこの上なく貴重な時間です。心よりご冥福をお祈り申し上げます。小林先生、本当にありがとうございました。